

## 1 交流セミナー開催

- 2023年度は2022年度から引き続き、民間事業者とコラボレーションして交流セミナー「共生社会を目指して「壁」を壊す！～様々な障害者コミュニケーションを学び、世界を広げよう！～」を開催した。
  - 交流セミナーで目標とする「普段障害者と接する機会が少なく、関心が薄い層への普及啓発」に一定の効果を得ることができたと考えられる。2024年度も同様の手法で交流セミナーを開催予定。
  - 2022年度は聴覚障害、2023年度は視覚障害と関係が深い著名人をゲストとしたことから、2024年度はそれら以外の障害種別と関係が深い著名人をゲストに選定することを検討。
  - また、2023年度に委員から意見として挙げた以下の点を反映する。
    - ①情報保障の手法、情報保障席の配置を再検討。
    - ②専門部会関係者への案内について、より広く参加いただけるよう御案内の時期を事業者と調整する。
- ※ あいちアール・ブリュット展において愛知労働局（ハローワーク）と連携して実施している企業向けの「障害者雇用促進セミナー」は継続開催の予定。

## 2 コミュニケーション支援アプリの運用および周知活動

コミュニケーション支援アプリを継続運用し、より使いやすくなるよう更新を図る。加えて、チラシの配布や関係団体の会議等の場でのご紹介など、周知活動を展開する。

## 3 市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

- 「手話言語・障害者コミュニケーション条例」に基づくコミュニケーション支援の普及啓発の一環として、近年は、コミュニケーション支援アプリの運用、改修を継続してきた。
- 従前から、専門部会において「コミュニケーション支援アプリでは視覚障害者等へのコミュニケーション支援は難しい」旨の御意見をいただいていることから、避難所や日常生活においてコミュニケーション支援アプリが活用できない困りごとについて御意見を伺った。
- 災害時の支援として避難所等における具体的な対応が必要という意見が多かったことから、2024年度中に、市町村の福祉部局及び防災部局の職員を対象として「市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナー」を開催する。

### 【市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナー開催内容（案）】

#### (1) 対象者

県内市町村の福祉部局及び防災部局の職員

#### (2) 内容

- ・障害者支援施設・団体等による講演、県による行政説明
- ・先進的な取組を行う市町村や団体等による事例紹介
- ・市町村職員同士のグループワーク